

はだの
美しい自然と名水のふるさと… 秦野
その秦野が生んだ歌人 前田夕暮 の功績を
たたえ「夕暮祭短歌大会」を開催します



前田夕暮 (54歳) 昭和11年

第33回

夕暮祭短歌大会



自筆短冊「出水川あからにこりてながれたり つちよりにじのわきたちにけり 夕暮」(秦野市立図書館蔵)

■ 作品募集 ■

はがき又は電子メールに、自作の未発表の短歌一首・住所・氏名(ふりがな)・年齢(学年)・電話番号・メールアドレスを書いてお送りください

※詳しくは裏面をご覧ください

応募締切:

令和2年

5月16日(土)

■ 表彰式及び講演会 ■

日時: 令和2年7月25日(土)

午後1時30分~

場所: 秦野市立図書館 視聴覚室

送付・問い合わせ先

秦野市立図書館「夕暮祭」係

〒257-0015

神奈川県秦野市平沢94番地の1

電話 0463(81)7012

tosyo@city.hadano.kanagawa.jp

主催 / 秦野市・秦野市教育委員会

協力 / 秦野短歌会

後援(申請中) / 現代歌人協会 日本歌人クラブ 神奈川県歌人会 神奈川新聞社 tvk

第33回夕暮祭短歌大会実施要項

ふるさと秦野の生んだ歌人前田夕暮（まえだ ゆうぐれ）の功績と文学遺産を後世に引き継いでいくとともに、本市における短歌のふるさとづくりを推進するため、短歌大会を開催します。今年もたくさんのご応募をお待ちしています。

《作品募集》

- (1) 郵便はがき又は電子メールに、短歌作品、住所、氏名、年齢（学年）、電話番号、メールアドレス（電子メールの場合のみ）を記入し、応募すること。
- (2) 電子メールで応募する場合は、メールの件名に「夕暮祭短歌」と明記し、次のメールアドレスあてに送信すること。（tosyo@city.hadano.kanagawa.jp）
- (3) 題は、自由題とする。
- (4) 1人1首とし、自作・未発表の作品に限る。なお、応募後の作品の差し替え、字句の訂正等には応じない。
- (5) 氏名及び難読漢字等には「ふりがな」を付すこと。電子メールの場合、「ふりがな」はカッコ書きにすること。
- (6) 入賞者には6月下旬に文書により通知する。なお、電話等による問い合わせには応じない。
- (7) 応募作品と同一の作品又は酷似する作品が先行して発表されていた場合は、応募及び入賞を取り消すことがある。
- (8) 応募はがきは、返却しない。
- (9) 応募作品の著作権は、主催者に帰属するものとする。
- (10) 応募の締め切りは、令和2年5月16日（土）秦野市立図書館必着とする。

《選者》山田 吉郎 氏（歌人、「ぷりずむ」選者、現代歌人協会会員）
寺尾 登志子 氏（歌人、「りとむ」同人、跡見学園女子大学講師）

《賞》秦野市長賞、秦野市教育委員会教育長賞、選者賞ほか

《表彰式・記念講演》

- (1) 日時 令和2年7月25日（土）午後1時30分から
- (2) ところ 秦野市立図書館 視聴覚室（神奈川県秦野市平沢94番地の1）
- (3) 表彰式 表彰並びに講評
- (4) 記念講演 演題 前田夕暮と万葉集 一歌集『生くる日に』をめぐって—
講師 寺尾 登志子 氏
(演題及び講師は、変更になる場合があります。)

すべての応募作品を収録した作品集を作成します。郵送ご希望の方は応募のはがき又は電子メールに「作品集希望」と書いてください（大会後、送料受取人払いにてお送りします）。

《作品のあて先・お問い合わせ先》

〒257-0015 秦野市平沢94番地の1 秦野市立図書館「夕暮祭」係
電話：0463(81)7012 FAX：0463(83)8370
メールアドレス：tosyo@city.hadano.kanagawa.jp

～ 前田夕暮(まえだゆうぐれ)について～

前田夕暮(本名：洋造)は、明治16年、現在の秦野市南矢名に豪農の長男として生まれました。22歳で上京、尾上柴舟(おのえさいしゅう)に入門し、文学修業を始めます。その後、明治43年に発表した第1歌集『収穫』で一躍その名を馳せ、同じ時期に歌集『別離』を公にした若山牧水とともに「夕暮・牧水時代」と称される自然主義短歌の全盛期を築きました。

その後は歌風の転換を繰り返し、昭和26年に没するまでの間に3万5千首にも上る短歌を遺し、口語による斬新な表現や「自由律短歌」の先駆者として短歌史に大きな足跡を残しています。